

Bouquet



No.81 2017.10



特集1 届け、私の声

◆インタビュー 白石 草さん (特定非営利活動法人 Our Planet+TV 代表)

山崎礼子さん (カウンセラー、アサーション・トレーナー)

◆区内で地域情報を発信している活動の紹介

特集2 第16回中央区ブーケ祭りを開催しました!

届け、私の声

特定非営利活動法人 OurPlanet-TV 代表
白石 草さんにインタビュー



白石 草 (しらいし はじめ) さん

番組制作会社を経て、東京メトロポリタンテレビジョン入社。ビデオジャーナリストとして、ニュース・ドキュメンタリー番組の制作に携わる。2001年に独立し、同年10月 OurPlanet-TV 設立。著書に『ビデオカメラでいこう〜ゼロからはじめるドキュメンタリー制作』（七つ森書館）、『メディアをつくる〜「小さな声」を伝えるために』（岩波書店）ほか多数。
OurPlanet-TV <http://www.ourplanet-tv.org/>

身近な出来事や自分の思いを、さまざまな方法で発信する人が増えてきました。
特集では、さまざまなテーマを取り上げ、独自の番組を制作し、インターネットを通じて配信する傍ら、誰もが参加できる映像制作ワークショップを継続して実施している白石草さんに、活動を開始した経緯や、自分の思いを伝えるためのヒントについて、お話を伺いました。

大きなメディアから こぼれがちな、小さな声

—— インターネット放送局で、独自の番組を制作・配信を始めたきっかけについてお聞かせください

日本にはテレビや新聞など大きなメディアがたくさんあり、そこには、誰にとっても分かりやすく、違和感なく受け止められる情報が常に流れています。しかし、扱うテーマは限定的で、多くの情報がこぼれ落ちていきます。

2001年にニューヨークで同時多発テロが起き、テレビや新聞では米国によるアフガニスタンへの空爆を大きく取り上げていましたが、インターネットでは「空爆や戦争という形ではなく、対話で解決できないのか」という声がたくさん挙げられていました。そういう一人一人の「小さな声」を大切にしたいと考え、それを見えるようにするために、インターネット放送局 OurPlanet-TV を始めました。

「小さな声」とは、どこにでもありふれた情報、主流のメディアから切り捨てられている全ての声であると捉えています。「小さな声」に光を当てると、その一つ一つが主役になり得るような素晴らしい物語があります。

発信する人が増えれば、 情報は多様で豊かになる

—— 映像制作ワークショップを始めた目的や、その魅力をお聞かせください

OurPlanet-TVでは、自分でカメラを持ち、ペンを持って、現場で見聞きし、記録し、発信する人が増えれば、多様で豊かな情報の流通ができると考え、映像制作ワークショップを10年以上実施しています。5分間のドキュメンタリーを作りますが、初めてビデオカメラに触った人が作ったとは思えない、素晴らしい作品になります。受講生は、さまざまな仕事や



背景を持っていきますが、物事の見方やテーマの捉え方などに、それぞれが培ってきた知識や経験が生きています。

今では、誰もが気軽に写真や動画を撮り、インターネットを通じて発信しています。しかし、一つの場面を撮ることは簡単でも、写真や動画を編集し、複雑な物事を人に伝えるのは、まだハードルが高いと思います。

さまざまな形式の文章を読んだり書いたりを繰り返すと、自分の文章のスタイルができますが、映像も同じです。さまざまな映像を意識的に見て、できれば自分で映像を撮ってみるとメディアアリティラシー[※]が高まります。

自分の思いを伝えられる相手を見つけ、きちんと話せる関係をつくる

——身近な暮らしの中で感じたことや興味のあることを人に伝えるために、大切なことは何ですか

自分の思いを伝えられる相手や、信頼して話せる人を何人か見つけて、仲間の中できちんと話せる関係をつくるのが大切ではないでしょうか。

身近なところにいる人と価値観が合わないということがありますが、そういうとき、自分と似た価値観を持った人を見つけやすいのがSNS（ソーシャル・ネットワークキング・サービス）です。SNSは、自分の意見を表明したり、誰かの意見に共感したり、それを友達に知らせるなど、常に誰かとつながることができるので、とても便利です。例えば、自分がしんどいとき、「しんどいね」と言い合える相手を見つめるなど、同じような背景や気持ちを持った人たちのコミュニティに参加するための手段として使うとよいと思います。

そして、個人のつぶやきや情報をきちんと受け止め、自分から進んで出掛け、直接会って話を聞くなど、手応えのある関係をつくっていくことが重要です。例えば、さまざまな講座に参加するのも一つの方法です。興味のある講座に参加して、自分とどのような価値観を持った参加者を見つけて連絡先を交換すれば、そこから顔に見える付き合いが始まります。重要なのは、無理せず、楽にコミュニケーションができる関係をつくるということです。

自分が伝えたいことを人に伝える

るには経験が必要なので、特にインターネット上では、真意が伝わらず、誤解を受けるといった失敗もあり得ます。発言を躊躇^{ちゅうちゅう}する必要はありませんが、よく考えて発言することが大切です。私の場合、たとえ短い文章でも、情報を発信するときは、何度も読み返し、書き直します。上手に情報発信している人のやり方を見習ってもよいですし、自分が書いた文章を身近な人に読んでもらい、意見を聞いてみるのもよいでしょう。

耳を澄まして聴く人や、安心して話せる場が必要

——「一人で子育てをされていて大変」「知り合いがいなくて寂しい」などの声を伝えるには、どうしたらよいでしょうか

何らかの困難を抱えて苦しい思いをしている人は、自分から声を発しなくても、発することができません。私としては、そういう人の話に耳を澄まして聴く人が必要だと思っています。それは地域の人でも、小さなつながりでもいいのです。ちょっとしたおせっかいとか、よい形での介入とか…。都心のマンションこそ、傾聴ボランティアが必要なのかもしれません。例えば、乳児訪

間で保健師が自宅を訪ねて来てと何でも話せるように、安心して話せる場が大切です。大勢の人がいるところなどでは、気後れして話せないということも多いと思います。イベントでも、少人数で話し合う方が盛り上がりやすいです。「私はあなたの話を聴きますよ、だから安心して話してくださいね」という関係をいかにつくるかが大切ではないでしょうか。

「人に伝えよう」という気持ちが大切

——「Bouquet」読者へのメッセージをお願いします

映像メディアは、現代では最も身近なメディアです。機会があったら、例えばお子さんの成長を記録した映像でも、旅行に行つたときの写真でも、記録して終わりにするのではなく、そこから一歩進んで表現してはどうでしょうか。自分が経験した素晴らしい空気を、どうしたら他の人に伝えられるかを考えるのは楽しい作業です。何よりも「人に伝えよう」という気持ちを持つことが大切だと思います。

※メディアアリティラシー：次の3つを構成要素とする、複合的な能力のこと。1. メディアを主体的に読み解く能力。2. メディアにアクセスし、活用する能力。3. メディアを通じてコミュニケーションする能力。（放送分野にお

区内で地域情報を発信している活動の紹介

中央エフエム ラジオシティ「ママスタ」

ママによる、ママのための、 ママと作る子育て応援ラジオ

「ママスタ」は、子育て真っ最中のアッコさんとみかさんが、ママたちに孤独感を持ってほしくない、ママの友達の輪を広げたい、という思いで始めた子育て応援ラジオです。

中央区にお住まいのママ、お勤めのママを招き、児童館でおしゃべりするような感覚で番組を作っています。初めて住む街で、初めて子育てをする人は、知り合いも少なく、知りたいことがあっても情報がなかなか入りません。そういう人に向けて、夜泣き、歯磨き、雨の日のお出掛け、使いやすいトイレのある場所など、細かい情報を伝えています。中央区には、子育てを心から楽しんでいる元気なパパが多いので、時にはパパに出演してもらうこともあるそうです。

アッコさんとみかさんは、「子育てという共通のキーワードがあれば、住んでいる地域や立場が違ってママたちの輪が広がります。『ママスタ』がママたちをつなぐ存在になればいいなと思っています。ラジオでおしゃべりしたいママや、子育てに関するメッセージなどを随時募集しています」と話しています。



パーソナリティーの
アッコさん(左)とみかさん(右)

スタジオで行った
「親子で着付けワークショップ」



※ママスタのブログから、これまでに放送した番組を聴くことができます。
<http://fm840.jp/blog/mama/>

「天空新聞」

読者が参加して作る、 地域コミュニティ紙

「天空新聞」は3年前、高層マンションの自治会が発行する地域コミュニティ紙としてスタートしました。編集長の佐久間保人さんは、街を知ってもらうこと、読者に共感を持ってもらうことを大切に、紙面を作っています。例えば、街の昔話、新しくできた店、何これ？と気になった物事、働く人のランチ情報など、街の人々や読者から寄せられた声をもとに、現地に足を運んで取材した記事がぎっしり詰まっています。

佐久間さんは「情報発信したい人はいますが、その機会や場がありません。宅配で送付する天空新聞なら、確実に読者に情報が届きます」と話しています。天空新聞では、「こんな情報を載せてほしい」と読者自身が企画・取材した記事や、読者の知識や経験を生かしたコラムもあり、それを読むことを楽しみにしている読者もいるそうです。

「天空新聞」は、平成29年9月から発行部数を増やして区内全域に配布する予定で、さまざまな人の力を借りて長く続ける方法を模索している、とのことでした。



編集長の佐久間保人さん

天空新聞の紙面



※天空新聞のホームページでは、バックナンバーを見ることができます。
<http://tenku21.com/>

恐れずに 勇気を出して 爽やかに 伝えましょう

自分の言いたいことがうまく伝わらない理由や、伝えるための方法について、カウンセラーでアサーション・トレーナーの山崎礼子さんにお話を伺いました。

恐れずに、伝える勇気を持つ

私はさまざまな人に会う機会がよくありますが、言いたいことを相手に伝えることが苦手な人が多いと感じています。伝えることが苦手な人は、自分と相手の関係が悪化するのではないかと躊躇して、自分の気持ちを伝えることができません。物を言わないように抑えられて育ったために、物を言うこ



と自体が怖いのです。でも、伝えていいのです。恐れずに、相手の反応を気にせず、伝える勇気を持ちましょう。物を言うことは権利です。言いたいことを言わないまま、自分の中でため込んでしまうと、かえって自分を傷つけることになってしまいます。

相手も大事にしながら、自分の思いを伝えるには

言いたいことが伝わらないのは、率直に言えないからです。穏便に話そうとして、必要以上に言い回しを考えすぎると、かえって真意が伝わりません。誰に何をどう伝えるか、せりふを考え、文字にして、練習しましょう。やってみれば、案外簡単に、受け止めてもらえることがあります。

自分の言いたいことを率直に伝

えるには、「私はどう思う」、「私にはこう見える」など、「私」を主語にして、なるべく短い言葉で自分の思いを伝えるI（アイ）メッセージが効果的です。しかし、主語が「私」であっても「私はあなたのためを思って言っている」という言い方は相手をコントロールしようとする表現なので、I（アイ）メッセージとは言えません。

コミュニケーションには、「受身的」、「攻撃的」、「主張的」という3つのパターンがあります。「受身的」は、相手の気持ちや立場を優先して、自分の気持ちや考えを言えない、言わないパターンです。「攻撃的」は、相手の気持ちや立場を無視して、自分の言いたいことだけ言うパターンです。「主張的」は、相手の気持ちや立場も尊重しながら、自分の気持ちや考えを率直に言うパターンです。よいコミュニケーションとは「主張的」なコミュニケーションであり、その基本は相手との距離感を大事にしながら、相手が「No」を言える余地を残すことです。

自分のパターンを知っておくと、コミュニケーションが楽になります。「受身的」な人は、言いたいこ

とを整理して練習するのが効果的ですし、「攻撃的」な人は、まず相手の話をよく聞くように心掛けるとうよいと思います。

「伝える力」を高めるためのヒント

安心感のある人、話し掛けやすい人に、自分から話し掛けてみましょう。人との関わりは、心のもった挨拶を交わすことから生まれます。例えば「おはようございます」という挨拶に続けて「気持ちのいい朝ですね」など、気持ちを伝える第2の挨拶を付け加えてはどうでしょうか。

また、公的な相談窓口は、問題を抱えていないと利用できないと思ってしまうませんか？ 相談は、自分のありのままの思いを表現し、それを専門の相談員が丁寧に聴いてくれる場です。もつと相談窓口を利用してほしいと思います。

※「ブーケ21」女性相談の利用案内は12ページをご覧ください。

山崎礼子（やまざきれいこ）さん
カウンセラー、アサーショントレーナー。

1991年に東京フェミニンセラピィセンター（FTC）設立に参加し、現役員。また、1997年に設置されたFTCシェルターの運営にも役員として関わっている。現在、北区などの男女共同参画センター相談員としてカウンセリングを担当している。

あふれるチカラ
はばたくブーケ

第16回中央区ブーケ祭りを 開催しました！



「職場で、地域で、家庭で働く女性たちへの応援歌」を合言葉に、男女共同参画週間（6月23日～29日）に合わせて開催される「中央区ブーケ祭り」。第16回を迎える今年は「あふれるチカラ はばたくブーケ」をテーマに、6月23日(金)、24日(土)に開催しました。

会場となった女性センター「ブーケ21」では、29の参加団体による展示やパフォーマンスが行われ、1,400人近い来場者でにぎわいました。

展 示



カトリアグループ 空き瓶などを利用したフラワーアレンジメントの体験を行いました



オスビーの会 スウェーデンのオスビー市を訪問したときの様子を紹介しました



エガリテ しなやかに生きた王朝の才女たちを紹介しました



京橋防火女性の会 防火防災に関する展示、応急救護訓練の指導を行いました



カラーの会・アヌビス 選んだ色で心の状態を知るオーラソーマ診断を行いました



かな書道を親しむ会 かな書道の作品を展示しました

展 示



茶友倶楽部えん
気軽に楽しめる茶の湯体験を行いました



傾聴ボランティアグループうさぎの会 傾聴の必要性を伝えるとともに、活動内容を紹介しました



銀座育成婦人会 一年間の活動内容を紹介し、小物作り体験を行いました



中央区社会福祉協議会 車いす貸出事業を紹介し、車いすに触れる体験を行いました



中央区環境保全ネットワーク 食べられるのに捨てられる「食品ロス」についての展示を行いました



新婦人女性の地位向上委員会 平和を願う思いを込めた絵手紙の展示と制作体験を行いました



中央区女性ネットワーク
2016年度の活動を写真で紹介しました



中央区女性海外研修者の会 「台所から世界が見える」(ペルー料理)の様子を紹介しました



中央区消費者友の会 人や社会・環境に配慮した消費行動について展示しました



中央区文化財サポーター協会 歩いてみたいと分からない、中央区の魅力を紹介しました



中央区福祉保健部管理課保健係
健康相談、骨密度・血管年齢測定を行いました



中央区つつじ会
手芸の作品展示や刺繍体験を行いました

展示



東京都下水道局桜橋第二ポンプ所 施設見学会を行い、下水道の仕組みに関する模型などを展示しました



東京建築士会女性委員会 女性建築士による建築相談会を行いました



中央区立女性センター 中央区ワーク・ライフ・バランス推進企業を紹介しました



FLAP はばたき 相続診断で対策緊急度をチェックしました



人形教室みやび会 木目込み人形、押絵を中心とした作品を展示しました



日本橋モラロジー事務所 心の生涯学習についての案内と、月刊誌「ニューモラル」を配布しました

パフォーマンス



音楽の集い 外国語で混声四部合唱をしました



音和会 歌と津軽三味線を披露し、会場いっぱい広がって盆踊りをしました



アマービレ 8人が一人ずつ独唱しました



レイ・ロケラニ 笑顔でフラダンスを踊りました



新婦人コーラスエーデルワイスの会 楽しいコーラスを披露し、参加者と一緒に歌いました



朗読ボランティアグループわかはや会 絵本「おおきなおおきな木」と平岩弓枝作「記憶の中」を朗読しました



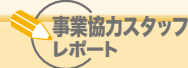
朗読の会 芥川龍之介作「蜜柑」を群読しました

ブーケ祭り 実行委員会企画

ブーケ祭り実行委員会企画では、キャリアコンサルタントの栗原知女さんによる講座や中央区内の相撲部屋「荒汐部屋」の鈴木ゆかさんによる講演会の他、DVD「今を生きるみなさんへ 働く女性のあゆみ」の上映、手作りアクセサリーのワークショップを行いました。また、友好都市東根市産のさくらんぼと被災地支援として南三陸わかめを頒布しました。

◆ 就労支援講座

「日常でも仕事でも役に立つ挨拶とマナーの基本」



ブーケ祭りの初日、女性センターで開催される再就職支援講座でもおなじみの栗原知女さんを講師にお迎えし、日常でも仕事でも役に立つ挨拶とマナーの基本についてお話を伺いました。

講座では、マナーについての考え方や挨拶、接遇、敬語の基本を具体的に説明いただいた後、参加者同士が声を掛け合って実際に練習しました。

「マナーとは人に不快な思いをさせないためのルールであって、日常の振る舞いに心の美しさが表れます。常に相手のことを思いやり、相手も自分も大切にしてください」とのこと。講師のソフトな語り口に自然に引き込まれ、豊かな気持ちになれました。会場が女性センターの1階ということもあり、多くの方が気軽に参加できる講座となりました。

事業協カススタッフ 橋谷信代



初対面での名刺の受け渡しを実践しました。

右は講師の栗原知女さん

◆ 中央区内の相撲部屋 荒汐部屋 「相撲部屋のおかみさんとして」



鈴木ゆかさん

ブーケ祭りの二日目は、日本橋浜町にある相撲部屋「荒汐部屋」のおかみさんである鈴木ゆかさんをお招きし、相撲部屋のおかみさんの仕事などについて、お話を伺いました。

日頃は、親方が稽古をつけ、おかみさんは稽古以外の面倒をみるなど、二人で協力して力士たちを育てています。鈴木さんは、力士たちが自分の仕事を支えてくれていると感じており、おかみさんを続ける限り、後悔しないよう、何でもやりたいと話していました。

質問にも丁寧に答えていただき、今どきの若者らしい力士たちの暮らしぶり、見学会やインターネットによる情報発信の取り組み、荒汐部屋で飼っている猫の話、人気のちゃんこの紹介など、相撲部屋を身近に感じた貴重な時間となりました。

◆ 手作りアクセサリー ワークショップ 「スカーフで作るくるみネックレス」



◆ DVD 上映 「今を生きるみなさんへ 働く女性のあゆみ」



◆ 友好都市東根市産 「さくらんぼ頒布」 ◆ 被災地支援 「南三陸わかめ頒布」



平成29年度のテーマ 「月島エリアへ暮らし・守る・変わる」

報告 第1回 月島もんじゃ ～変わるまち・変わらぬ賑わいを～

7月5日(水)、月島もんじゃ振興会協同組合理事長の松井勝美さんをお迎えし、今年度1回目の水曜イブニングトークを開催しました。

松井さんは、マスコミや企業と協力して月島もんじゃの普及に努めています。月島もんじゃは、キャベツを荒く砕いて甘みを出すのが特徴で、「めんたいチーズもんじゃ」で人気に火が付いてからは、多彩な食材を扱っています。「もんじゃ焼教室」に参加した外国人の発想を取り入れたメニューや、元気なおかみさんたちの存在が観光客にとつての魅力となっています。週末には修学旅行生や観光客で賑わいますが、近隣に迷惑を掛けないよう、普段からお付き合いを大事にしているそうです。

松井さんは、「昔の月島は田畑や池がありました。今はタワーマンションが建って風景が変わり、人口も増え、子どもたちも増えました。月島の文化を消さないよう、新しく越して来た人にも一緒に守ってほしいです」と話していました。



松井勝美さん



報告 第2回 都会の駐在所 ～夫婦で守る佃の暮らし～

8月2日(水)、警視庁月島警察署リバーシティ駐在所に夫婦で勤務している塩田亮一巡査部長、塩田明日香巡査部長をお迎えし、駐在所の仕事についてお話を伺いました。

駐在所は、交番と同様、管轄区域内で発生する110番処理や、各種訴えなどの対応を行う他、地域行事に参加することもあるそうです。駐在員から見た佃地区の特徴として、昔ながらの街並みと新しい高層マンションがあること、人口密度が高いこと、住民の防犯・防災意識が高いこと、犯罪の発生が少ないことなどを挙げられていました。

駐在所は、警察官が常駐である点が交代勤務の交番とは違いますが、夫婦での着任は珍しいとのこと。一緒にいる時間が長いので、情報共有がスムーズな一方、公私の切り替えが難しいこともあるそうです。高層マンションの多い地域の安全対策として、落下物による事故を防ぐため、高い所に住んでいる意識を持つてほしいという話もありました。



塩田亮一さんと塩田明日香さん

報告 中央区・東京商工会議所中央支部主催 ワーク・ライフ・バランスセミナー 会社の業績と社員の実顔を アップする「イクボス」のすすめ

7月12日(水)、株式会社東レ経営研究所ダイバーシティ&ワークライフバランス推進部上席シニアコンサルタントの塚越学さんを講師にお迎えし、「イクボス」としてのマネジメント方法についてお話しいただきました。

セミナーでは、さまざまな雇用形態や働き方の社員が増加する中、多様な人材を生かして企業の競争力を高める「ダイバーシティ・マネジメント」、社員が仕事上の責任を果たしつつ育児・介護、自己啓発、社会貢献などを実現する「ワークライフ・マネジメント」を合わせたイクボスのマネジメントが必要とのお話がありました。経営者や管理職が自ら部下・スタッフの仕事と生活を応援する「イクボス」となるよう自らの意識改革を行うことが重要とのことでした。

「イクボスのマネジメント」のポイントは、部下・スタッフとのコミュニケーションを図り、個々の価値観や事情を尊重しながら仕事を適切に配分することにある、とお話されていました。



塚越 学さん



報告 女性のための再就職支援 「キャリア講座」夏コース

5月18日(水)、6月8日(水)、7月13日(木)の3回にわたり、「キャリア講座」夏コースを開催しました。第3回のパソコン入門講座は日浦敬子さんを講師にお迎えし、パソコンを使った基本的なビジネス文書と職務経歴書の作成方法を学びました。

文書を作成する前に、パソコンを効率よく操作するためのショートカットキー、目的のフォルダを素早く開くショートカットフォルダなどの説明がありました。

その後、ビジネス文書作成の基本として、余白の取り方、文字数・行数の指定、文字の大きさや書体の変更などを学びました。見やすく分かりやすい文書に仕上げるには、表作成の機能、簡条書きや段落番号を付ける機能を活用するとよいそうです。また、ビジネス文書に特有の挨拶文も、季節(月)を指定して候補を選択する機能を使えば、正しく簡単に作成できるとのことです。

就職活動だけでなく、就職後も役立つ技術を分かりやすく、丁寧に教えていただきました。



日浦敬子さん



報告
ほっと一息私の時間
アロマdeリラックス♪好きな香りと効能を知り、日頃の疲れを癒しましょう♪

奇数月の第3水曜日の午前中に開催する「ほっと一息私の時間」。7月はアロマセラピストの直井真由美さんをお迎えして、香りの効能を知り、日頃の疲れを癒す方法を学びました。

初めに、アロマセラピーの効果や精油（植物のエキスを抽出したオイル）の特徴、使い方の説明がありました。精油の活用方法の紹介では、空中にスプレーして香りを拡散させる「芳香法」、お湯を入れた洗面器に精油を加え、精油の成分を含んだ蒸気を顔に当てる「フェイシャルスチーム」、精油を含ませた温かいタオルを体に当てる「湿布法」などを紹介いただき、体験も行いました。

後半は、参加者が自分の好きな香りを選び、虫よけスプレーを作った後、参加者が二人一組になり、精油を使ったハンドトリートメントにもチャレンジしました。会場いっばいよい香りが漂い、参加者の笑顔や会話も生まれて、好評のうちに終了しました。



直井真由美さん



平成 29 年 10 月・11 月の講座ご案内

※応募方法は 11 ページ左下の **申し込み・連絡先** を参照の上、お問い合わせください。

講座名	日時	講師	内容	対象など	「区のお知らせ中央」掲載号
女性のための再就職支援 「キャリア講座」 秋コース 託児	10月19日(木) A 午前9時30分～10時55分 B 午前11時5分～12時30分	栗原知女さん (キャリアコンサルタント)	A 決め手は仕事の「段取り力」 B 具体的な仕事探しのポイント(女性しごと応援テラス) * A、B どちらか一方の参加も可能です。	離職した方で、再就職を希望する女性・30名(先着順)・無料	8月1日号
「キャリア相談」 託児			一人一人の状況に応じた個別のカウンセリングを行います。 日時など詳細はお問い合わせください。	先着順・無料	
男女共同参画講座 「デートDVってなに？ ～子どもを被害者にも加害者にもさせないために～」	10月28日(土) 午前10時～正午	吉祥眞佐緒さん (アウェア事務局長)	子どもたちの恋愛事情について事例などを紹介しながら、周囲の大人たちは何ができるのか一緒に考えます。	中学生以上のお子さんのいる方、学校関係者、関心のある方・30名程度(先着順)・無料	9月11日号
男女共同参画助成事業 「親子で歌ってリフレッシュ!!」 主催：子育てリーダー CHUO	11月4日(土) 午前10時～11時30分	たいらいさおさん (童謡歌手、NHK「おかあさんといっしょ」第3代 歌のお兄さん)	親子で楽しめる童謡・あそび歌などをみんなで一緒に歌い、楽しいひとときを過ごしましょう。	区内在住の0歳から小学校低学年までのお子さんとその保護者・25組(先着順。当日直接会場へお越しください)・無料	10月1日号
男女共同参画セミナー 「2020年に向けた女性の活躍推進～働く女性を取り巻く現状と女性のキャリア支援～」 主催：中央区 東京都労働相談情報センター	11月8日(水) 午後6時30分～8時30分 11月29日(水) 午後6時30分～8時30分	矢島洋子さん (三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 女性活躍推進・ダイバーシティマネジメント戦略室長)	「女性の活躍推進に関わる法制度と企業の取組に向けて」 ・女性活躍推進法とは ・働く女性の現状 ・女性の活躍を阻む壁とは ・どうすれば壁を乗り越えられるか 「女性のキャリアと企業における活躍の事例」 ・求められる能力の開発とキャリア形成支援 ・キャリアとライフのバランスの考え方 ・大切な人材に働き続けてもらうための支援	事業主、人事労務担当者、勤労者、その他関心のある方・各回100名(先着順)・無料	10月11日号

*会場は男女共同参画セミナーは中央区役所、その他は女性センター「ブーケ21」です。

*募集は広報紙「区のおしらせ中央」発行後です。詳しくは広報紙「区のおしらせ中央」をご覧ください。

託児 は定員あり

申し込み・連絡先

女性センター「ブーケ21」
電話番号 5543-0651

女性センター「ブーケ21」
ホームページ
QRコード



●中央区ホームページの電子申請からお申し込みいただけます。

パネル展示日程

女性センター「ブーケ21」
11月11日(土)～12月26日(火)
月島区民センター
11月11日(土)～17日(金)
区役所1階
11月18日(土)～27日(月)
日本橋区民センター
11月29日(水)～12月5日(火)

毎年、11月12日から25日までは「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。区では、女性に対する暴力の防止を呼び掛けるパネル展を実施します。

お知らせ 女性に対する暴力をなくす運動 パネル展

毎年、11月12日から25日までは「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。区では、女性に対する暴力の防止を呼び掛けるパネル展を実施します。

※応募方法は11ページ左下の申し込み・連絡先へお問い合わせください。
認定式 平成30年4月
締切 11月30日(木)(必着)

募集 中央区ワーク・ライフ・バランス 推進企業の募集について

仕事と子育て・介護との両立支援や長時間労働削減など働きやすい職場の実現に向け取り組んでいる事業所を中央区ワーク・ライフ・バランス推進企業として認定しています。

テーマ 子どもたちの未来のために、 私たちができること

講演と
映画の
つどい



講師の田澤雄作さん

講演 「メディアにむしばまれる子どもたち」

講師 田澤雄作さん (国立病院機構仙台医療センター 小児科医師)

映画 『ライフ —いのちをつなぐ物語—』 製作: BBC Earth Films



田澤雄作さんと中央区女性ネットワークのメンバー



会場の様子

7月8日(土)、中央区女性ネットワークと中央区の共催により日本橋社会教育会館ホールにて「講演と映画のつどい」を開催しました。12回目を迎えた今回は、「子育て世代も参加できる企画を！」との声から、「子どもたちの未来のために、私たちができること」をテーマに、講演では小児科医師の田澤雄作先生を講師にお招きし「メディアにむしばまれる子どもたち」についてのお話を伺いました。映画は、壮大な自然の中で力強く生きる動物たちを描いた『ライフ—いのちをつなぐ物語—』を上映しました。例年になく若い世代の方の参加が多かったことが大きな収穫でした。

中央区女性ネットワーク 会長 三田富貴子

テレビや携帯電話がなくては一日たりとも過ごせない若い世代を目の当たりにし、老婆心ながら日頃心配していましたが、田澤先生のお話を伺い「やはり心配してよかったのだ」と確信させられました。娘たちと一緒に参加できなかったのが残念でしたが、これからは家族で知恵を出し合ってメディアとの向き合い方を探りたいと思いました。

事業協力スタッフ 橋谷信代

映画では、さまざまな動物が「いのちをつなぐ」ために必死に子育てをしている姿が描かれていました。初めての経験で試行錯誤しながら子どもを育てている動物や人間の親たちに熱いエールを送りたいと思いました。

事業協力スタッフ 脇坂文栄

館長雑記

振り込め詐欺と女性



▶振り込め詐欺の被害が毎日のように報道されています。件数は増加の一途をたどり、手口はどんどん開発を重ねて進化していますが、伝統的なものは、仕事上の失敗をお金で償うために、身内を装い親族からお金をだまし取る、というものです。▶不思議なことに、このケースでは、失敗してお金をせびる側の人間には、「息子」や「男性の孫」など「男性」になりすます場合が圧倒的に多いように思います。取引先とのトラブルや落し物、電車で大事な書類の入ったカバンを忘れるなど、お金で償えるものかどうかはよく分かりませんが、いずれも主人公は「オレ=男性」であり、「ワタシ=女性」である例を聞きません。▶こんなにたくさんの女性が働いているのに、なぜでしょうか?……女性は男性に比べて、大事な書類を持ち歩いたりするような重要なポストに就いている人が少ないのか? または、女性はそもそも始末がよくて失敗が少ないのか? または、女性は失敗しても身内に泣きついたりしないのか? ▶振り込め詐欺のシナリオを書く人たちの「ジェンダー意識」はどうなっているのでしょうか? ともあれ、こうした詐欺に遭わないようにすることが第一なのですが、不思議に思うことの一つです。(松川淳子)

「ブーケ21」女性相談をご利用ください

配偶者や恋人からの暴力(DV)をはじめ、仕事や家庭、生き方など、女性のさまざまな悩み専門相談員がお応えします。一人で悩まず、お気軽にご相談ください。

相談・予約電話番号 03-5543-0653 (相談無料、秘密厳守)

電話相談(予約不要) 毎週月曜日 10:00 ~ 16:00 (ただし祝日、年末年始を除く)

面談相談(予約制) 毎月第1・5水曜日 第4火曜日 10:00 ~ 16:00
毎月第2火曜日 第3水曜日 15:30 ~ 20:30
(ただし祝日、年末年始を除く) *託児付(要予約)
上記以外の時間でも、女性センター開館時は予約を受け付けます。

女性センター「ブーケ21」へ来てみませんか?

「ブーケ21」は男女共同参画を推進し、一人一人が自分らしく生きることができる地域社会を目指す拠点施設です。女性、男性どなたでもお気軽にお越しください。

〒104-0043 東京都中央区湊一丁目1番1号
電話番号 03-5543-0651
ホームページ <http://bouquet21.genki365.net/>

◆開館時間 午前9時～午後9時(12月28日から1月4日までと臨時休館日を除く)

- 東京メトロ日比谷線・JR京葉線 八丁堀駅下車 A2・B3出口徒歩3分
- 都バス「東15」(深川車庫前⇄東京駅八重洲口/豊洲駅前・明石町経由) 鉄砲洲下車 徒歩3分
- 江戸バス「南循環」鉄砲洲下車 徒歩3分
- 入船三丁目下車 徒歩3分
- 「北循環」八丁堀駅下車 徒歩3分

